

十二月二十一日は『冬至』です。
 冬至は、一年で昼が一番短く夜が一番長い日とされています。また、かぼちゃを食べ、ゆず湯に入ると風邪をひかないと言われています。
 かぼちゃにはビタミンAが多く含まれており、またでんぷんを糖に変える酵素があるそうです。甘く煮るとおいしいですね。
 冬はこれからが本番ですが、陽は一日一日長くなり夕暮れが遅くなって、まだ先のはずの春の訪れがほんの少し感じられるかもしれません。



朝礼時。吐く息も白く、冬到来

山形市学校給食センター整備運営事業

下河原かわら版

第七号

発行：2008年（平成20年）12月
 山形建設・鹿島道路共同企業体
 （山形市学校給食センター新築工事現場）
 山形市大字沼木字下河原1139-19
 電話(023)647-7425

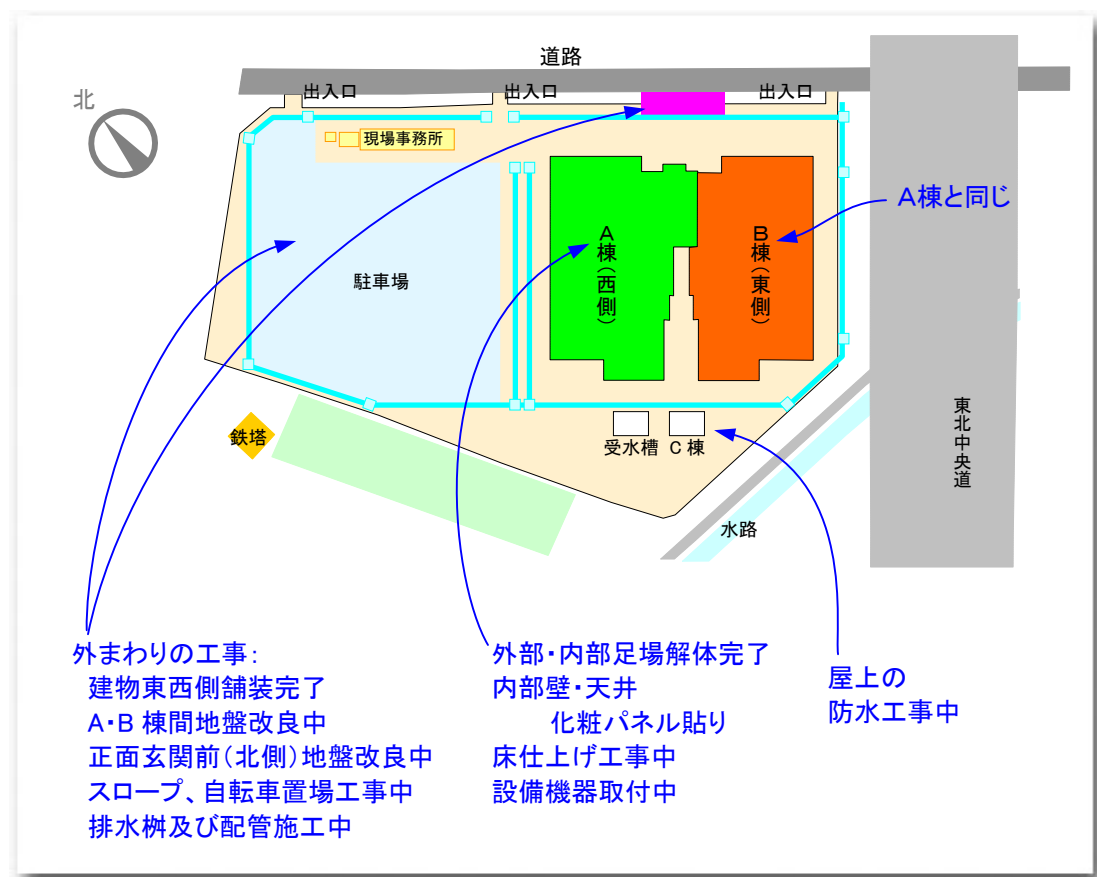
工事の進捗について

十一月の末までに、外側、内側の足場は撤去されました。

建物の外壁は、北面、南面もほぼ完了し、新しい給食センターの外観が確認できるようになりました。『山形市学校給食センター』のマークもつきました。

建物の外周は地盤が整備され、建物の東西側の地面は舗装されました。入庫・出庫のトラックヤード（トラック用の搬入・搬出口）の部分も、今月中に舗装される予定になっています。

本格的な雪の季節を前に、外回りの工事は急ピッチで進められています。



正面玄関前には、階段、自転車・バイク用の駐輪場、車イス用のスロープも作られています。



正面玄関前の階段(左上にマークが見えます)



スロープ、奥に正面玄関、駐輪場



北側の外構工事(側溝を入れる準備)

内部のご紹介

仕上げ工事も順調です

工事予定によれば、建物内部の仕上げ工事は来月一月の半ばでほぼ終ることになっていきます。今のところ当現場は天候にも恵まれたおかげで、外側の外壁や屋上の工事、内部の仕上げ工事も順調に進んでいます。

今月は、まだ調理器具や設備機器が入っていない、広々とした室内をご紹介します。



玄関ホール



廊下(A棟)



煮炊き調理室(A棟)



洗浄室(B棟)



二階見学者通路



二階展示ホール

沼木の歴史散歩

切石と延命地蔵

大正末期に埋設された、番小屋前の堰にかかる橋

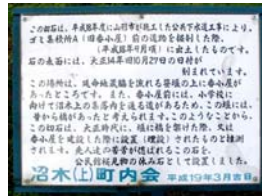
沼木(上)公民館から北に、小さな堰が続いています。案内板によると、これは山形五堰のうちの「笹堰」とのこと。

堰を北に辿るとゴミ集積所Aがあり、その先のいわゆる狐越街道(旧山形白鷹線)に出て東に、延命地蔵があります。堰は、延命地蔵脇を東に続いています。

公共下水道工事の際に旧番小屋(ゴミ集積所A)前道路から出土した切石は公民館前に置かれ、ここを訪れる皆さんの心を癒す休み石として、今なお活躍しています。



沼木(上)公民館前の切石



延命地蔵(右が堰)



堰の先にゴミ集積所Aが見える

※案内板のごとく

この切石は、平成18年度に山形市が施工した公共下水道工事により、ゴミ集積所A(旧番小屋)前の道路を掘削した際(平成18年9月頃)に出土したものです。石の表面には、大正14年旧10月27日の日付が刻まれています。

この場所は、延命地蔵脇を流れる笹堰の上に番小屋があったところです。また、番小屋前には、小学校に向けて沼木上の集落内を通る道があるため、この堰には、昔から橋があったと考えられます。このようなことから、この切石は、大正時代に、堰に橋を架けた際、又は番小屋を建設した際に設置(埋設)されたものと推測されます。先人達の苦勞が偲ばれるこの石を、公民館見物の休み石として設置しました。

現場から見た 山形の風景

天候に左右されることが多い建設工事。そのせいか、空や山を見ることが多くなりました。



遅い午後の虹



湧き上る雲



夕陽に染まる雪山



早朝の雪化粧

市道中部三号線交差点改良工事

夜6時頃まで、山形市学校給食センター工事関係者は、市道中部三号線から新しく舗装された道路へそのまま入るようになりました。



現在のところ、交差点から先(西)は、行き止りです。

正式な開通は来年度になると思われます。

直進は行き止りです→ご注意ください。



仮・開通 工事関係者のみ通行

冬到来

現場も白く覆われました

先月十一月十九日夜、日本上空に強い寒波が襲来し、翌二十日の朝は、ご覧のとおり現場も真っ白い雪に覆われました。



降雪の中での朝礼です



作業用通路にも雪



轍が黒い線を描きます



こんもり積りました



シヨベルカーも寒そうです



通路確保のため雪かき